

高山市新型コロナウイルス総合窓口の対応状況について

1. 受付状況について

※上段：4/16～2/26 10.5か月間 下段：《 2/16～2/26 8日間 》

①対応件数 延べ11,871件（1日平均51件）
 《 235件（1日平均29件） 》

*うち、窓口5,466件(46%)、電話5,466件(46%)、メール113件(1%)、資料交付826件(7%)

《 窓口104件(44%)、電話118件(50%)、メール2件(1%)、資料交付11件(5%) 》

[資料交付:県休業（時短）要請に対する協力金関係資料を渡すのみの対応]

②相談等項目別集計 延べ13,453件（1日平均58件）
 《 255件（1日平均32件） 》

区分	主な内容	件数（割合）	
事業者向け 給付・助成	県:休業/時短要請に対する協力金 (資料交付含む)	1,895 (14%) 《30 (12%)》	5,906 (44%) 《116 (46%)》
	市:家賃等に対する助成など	3,272 (24%) 《82 (32%)》	
	国:持続化給付金、家賃支援給付金など	739 (6%) 《4 (2%)》	
事業者向け融資	セーフティーネット保証認定、利子・保証料補給	1,138 (8%) 《1 (0%)》	
納付猶予・減免	市税、国民健康(介護)保険料、上下水道料	519 (4%) 《2 (1%)》	
個人向け給付	市:特別定額給付金、子育て世帯応援給付金	3,426 (25%) 《2 (1%)》	3,508 (26%) 《15 (6%)》
	国:休業支援金・給付金	82 (1%) 《13 (5%)》	
事業者の 雇用継続	雇用調整助成金	244 (2%) 《3 (1%)》	
個人向け貸付	緊急小口資金、福祉金庫資金	231 (2%) 《7 (3%)》	
市内消費喚起	プレミアム付き商品券、市内宿泊施設利用助成	909 (7%) 《85 (33%)》	
その他	感染拡大防止、支援等の要望、市営住宅関係など	998 (7%) 《26 (10%)》	
合計		13,453 (100%) 《255 (100%)》	

※複数の相談を受けた場合、それぞれに計上

③傾向や特徴

<事業者関連>

- ・ 2月下半期の事業者向け給付・助成に関する対応件数は116件(46%)で、相談区分の中で最も多くなっている。
- ・ 相談内容としては、市の事業者向けの助成に関するものが82件と最も多く、次いで、県の時短要請に対する協力金に関するものが30件となっている。
- ・ 市の商業機能持続化補助金（家賃、テナント補助）や感染防止おもてなし補助金に関する申請が多くあった一方で、県の時短要請に対する協力金に関する相談が大幅に減少した。

<個人、労働者関連>

- ・ 当面の生活資金を確保するための緊急小口資金貸付の相談などについては、7件であった。
- ・ 緊急小口資金貸付制度利用後の更なる支援策や国の休業支援金に関する相談もあった。

<市内消費喚起>

- ・ 2月22日から市のプレミアム付き商品券（第2弾）の販売が開始となり、申請申込書の記入方法や利用店舗に関する相談が増加した。

<その他>

- ・ 県の時短要請に対する協力金（第4弾）の要件である「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」の申請が引き続きあった。

問 合 先	
担当課	新型コロナウイルス総合窓口 (企画部 企画課)
課長	北村 幸治
係長	前田 研治 担当 小椋 直
連絡先	電話 (直通 0577-36-0024) (内線 2097)